

2024年12月5日



## 2025年2月22日（土）にダイヤ改正を実施します

「快速急行」の増発・所要時間の短縮、  
深夜時間帯の「特急」新設などの見直しを通じて利便性を向上します

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）では、お客さまのご利用状況を踏まえ、2025年4月の大阪・関西万博開幕に先立ち、2025年2月22日（土）にダイヤ改正を実施します。

今回の改正のポイントは、次の4点となります。

- (1) 平日昼間時間帯の「快速急行」の増発
- (2) 昼間時間帯の「快速急行（神戸方面）」の所要時間短縮
- (3) 昼間～夕方時間帯の阪神なんば線「普通」（準急・区間準急を含む。）の10分間隔化及び尼崎における本線接続列車の「急行」（一部は快速急行）への統一
- (4) 大阪梅田24時00分発の「急行」を「甲子園行き」から「御影行き」に延長、大阪梅田24時15分発の「特急 神戸三宮行き」を新設

詳細は、次ページ以下のとおりです。



◆概要

1 実施日

2025年2月22日（土）

2 内容

- (1) 平日昼間時間帯の「快速急行」（大阪難波～神戸三宮間）を1時間当たり2本（30分間隔）から1時間当たり3本（20分間隔）に増発します。

これにより西九条、九条、ドーム前や大阪難波、近鉄線方面への乗換えなしの直通列車が増加し、アクセスが向上します。

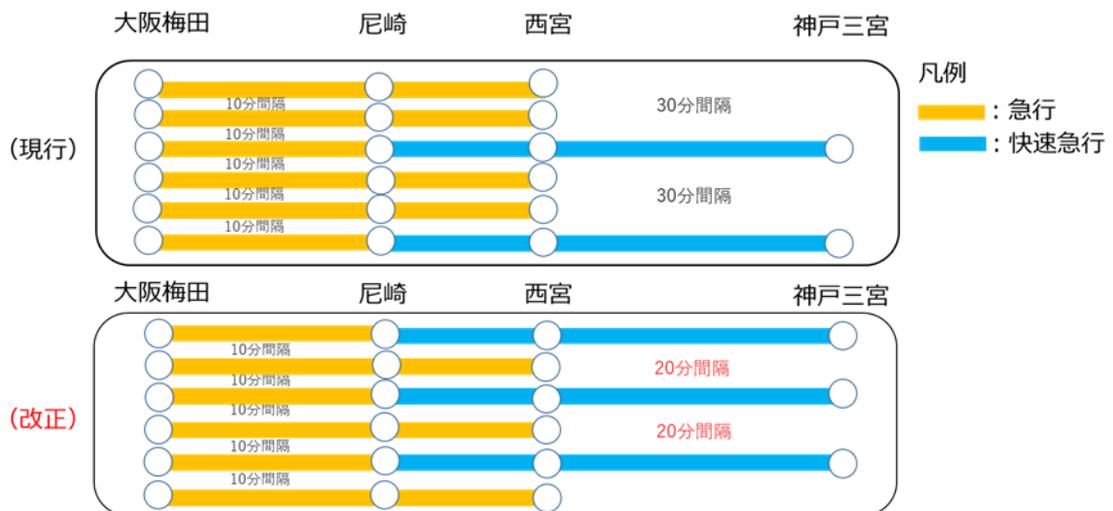
※九条で「OsakaMetro 中央線」又は西九条で「JRゆめ咲線」（桜島からバス）にお乗換えいただくことで、2025年4月開幕予定の大阪・関西万博の会場（夢洲）までアクセスいただけます。

【快速急行の1日の運転本数】

- ・神戸三宮→大阪難波間は41本→47本、大阪難波→神戸三宮間は36本→41本となります。

※これに併せて、「急行」についても大阪梅田～西宮間、大阪梅田～尼崎間を各20分間隔とし、「西宮行き」と「尼崎行き」を交互に運転します。

【「快速急行」と「急行」の運転イメージ図】



- (2) 平日・土休日昼間時間帯の下り（神戸方面）「快速急行」の停車時間等を見直し、大阪難波から神戸三宮への所要時間を短縮します（平均43分→41分<2分短縮>）。

- (3) 平日・土休日昼間～夕方時間帯の阪神なんば線の「普通」（準急・区間準急を含む。）の運転間隔について、現行ダイヤでは、最大13分ほど運転間隔が開いていたものを、概ね10分間隔とします。

尼崎における本線との接続列車を「急行」（一部は快速急行）に統一することで、お乗換えのお客さまに分かりやすいパターンダイヤとします。

- (4) 平日・土休日の大阪梅田24時00分発「急行 甲子園行き」を「御影行き」に行先変更し、運転区間を延長します。また、大阪梅田24時15分発「特急 神戸三宮行き」を新設します。

神戸三宮にお帰りの際、これまで大阪梅田23時45分発、大阪難波23時33分発が最終列車でしたが、今回の改正で大阪梅田24時15分発（30分繰下げ）、大阪難波23時55分発（22分繰下げ）に変更しますので、大阪梅田エリア、大阪難波エリアの滞在時間が拡大します。

※新設する大阪梅田24時15分発「特急 神戸三宮行き」は、御影で各駅停車との接続はありません。特急が通過する石屋川～春日野道間の各駅への最終列車は、大阪梅田23時45分発「特急 神戸三宮行き」（御影で各駅停車に乗換え）から変更はありません。

【最終列車の接続イメージ図】



- (5) 各駅の時刻について

2025年2月22日以降の時刻表は、2025年1月上旬頃から阪神電車ホームページ（<https://www.hanshin.co.jp/>）でご確認いただけます。

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上